

☆お知らせ

平成22年度

男女共同参画 フォーラムを

平成22年12月4日(土)

午後12時50分～

薩摩川内市

国際交流センターで
開催致します!

大会テーマは…

“Real You”自分らしく 生きるために

～仕事と生活の調和

“イクメンで行こう!”～

●ファザーリング・ジャパン九州の
メンバーも登場します。

『とらいあんぐる』とは…

参画（さんかく）と三角（さんかく）を掛けてつけました。「市民・行政・地域」「教師・児童生徒・保護者」「上司・部下・自分」etc…。いろいろな社会において、常に三者（三角）の関係はとても大切です。この情報誌を発行するにあたって、それぞれの「さんかく」を念頭に置き、お互いがトライアングルのように響きあいながら、理解し合えるような社会を築けるよう願いを込めました。

この情報紙に関するご意見、ご感想、取り上げて欲しいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

【編集】

男女共同参画情報紙

「とらいあんぐる」編集委員会

【発行】

〒895-8650

薩摩川内市神田町3番22号

薩摩川内市役所 企画政策部

コミュニティ課 男女共同参画グループ

TEL 23-5111（内線 4613）

FAX 20-5570

E-mail

sho-gender@city.satsumasendai.lg.jp

参加者レポート

「九州・山口パパサミット」

in福岡県：大野城まどかぴあ
2010/6/20

育児も家事も妻に任せっきり？

そう言われてドキッとするお父さん… きっと少なくないはず。

育児を楽しむお父さんを増やすことを目的に設立された「ファザーリング・ジャパン九州」が開催したサミットには、笑顔の素敵なパパ達が集まっていました。

そこで「子育て家事時間60分以上」を目標に掲げたパパ宣言が採択された背景には、福岡県80分（全国2位）以外の九州各県が全国平均56分を下回っているからです。ちなみに鹿児島県は、44分（全国40位）です。…（総務省の'06社会生活基本調査）

育児や家事に携わると、地域とのかかわりが生まれ、そうやってきた男性は定年後も新たな展開ができ豊かな人生につながっていることを感じました。

「さんきゅーパパシンポジウム」

in東京都：女性と仕事の未来館
2010/6/29

～改正育児介護休業法は、男性の育休取得率向上の起爆剤になるか？～

「ワーク・ライフ・バランス」について、いろんな形で工夫し実践してきたパパ達が集まったシンポジウムが東京で開催されました。育児休業を取得した経験のある横浜市山田副市長や文京区成澤区長をはじめ、多くのパネリスト達から出た言葉をいくつかご紹介します。

- ・ 男性の育休取得について前例が無いとか、自分がいないと仕事回らないという思い込みが邪魔をする。
- ・ 男性が育休取得または育児に積極的に参加することで、価値観が変わった。
- ・ どんな人に会っても、（この人も昔はおむつを替えてもらっていたんだと考え）びびらなくなった。
- ・ 企業社会ではない、もうひとつの社会（地域社会）を知った。

これからの社会の中で、イクメン達に「胸を張って堂々と育児をしてほしい!」とエールを送ります。

それと同時に、そんなイクメン達の生き方を非難するのではなく、いろんな選択肢を認める社会であって欲しいと望みます。